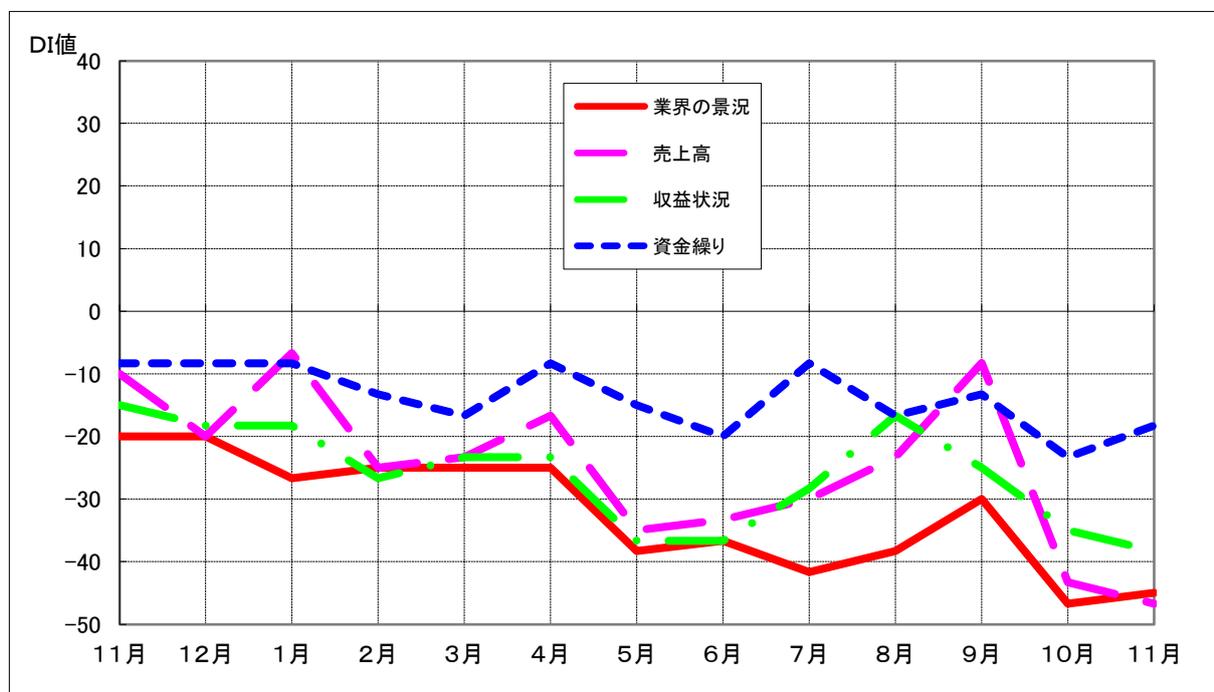


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成30年11月～令和元年11月

単位:ポイント



	H30		H31			R1							
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
業界の景況	-20.0	-20.0	-26.7	-25.0	-25.0	-25.0	-38.3	-36.7	-41.7	-38.3	-30.0	-46.7	-45.0
売上高	-10.0	-20.0	-6.7	-25.0	-23.3	-16.7	-35.0	-33.3	-30.0	-23.3	-8.3	-43.3	-46.7
収益状況	-15.0	-18.3	-18.3	-26.7	-23.3	-23.3	-36.7	-36.7	-28.3	-16.7	-25.0	-35.0	-38.3
資金繰り	-8.3	-8.3	-8.3	-13.3	-16.7	-8.3	-15.0	-20.0	-8.3	-16.7	-13.3	-23.3	-18.3

11月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化となった。「業界の景況」DI値は1.7ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイント、それぞれ改善し、「売上高」DI値は3.4ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイント、それぞれ悪化した。前年同月比でみると、先月に引き続き全項目で大きく悪化しており、「業界の景況」DI値は25ポイント、「売上高」DI値は36.7ポイント、「収益状況」DI値は23.3ポイント、「資金繰り」DI値は10ポイントそれぞれ悪化という結果になった。

連絡員からは、先月に引き続き、消費税増税の影響による売上減少の報告が多くがみられる。特に小売業では、年末商戦を控え、消費者の買い控え傾向がいつまで続くか懸念する声が挙がっている。また、製造業においては、原材料費の高騰・豪雨等災害・工事需要減少などの要因で、全体的に厳しい経営状況の中、木材・木製品業が比較的好調のようである。

組合の特記事項としては、先月に引き続き、消費税増税の影響による売上減少の報告が多い。非製造業の中では、特に小売業・一般乗用旅客自動車運送業で影響が大きく、年末商戦を控え、消費者の買い控え傾向がいつまで続くか懸念する声が挙がっている。一方で、左官工事業から工事量増加の報告があるなど、建設関連業については、先行き不透明ながら、他業種に比べて業況は落ち着いているようだ。

また、製造業においては、原材料費の高騰・豪雨等災害・工事需要減少など様々な要因から、全体的に厳しい経営状況の中、木材・木製品業が比較的好調のようである。